

# しまだ 議会だより

No.8

11月定例会

2007(平成19)年2月1日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ <0547>36-7204

FAX <0547>37-2212

メールアドレス gikai@city.shimada.shizuoka.jp

ホームページ [http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai\\_top.jsp](http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp)

## 目次

P 17	P 16	P 14	P 11	P 9	P 2
決議&特別委員会報告	定例会概要&議決結果	討論&採決一覧	委員会報告	議案質疑	一般質問



## 平成19年 消防出初式

新年恒例の消防出初式が1月4日、市消防本部から合わせて約480人が参加し開かれました。  
出初式では、消防団による模範演技や消防活動に長年にわたり貢献した団員ら157人への表彰式が行われました。

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

# 一般質問

## 15人が市政を問う

### 期待ふくらむ『伊太田代温泉』



むらた ちづこ  
村田千鶴子 議員

**問** 平成21年春ごろ供用開始予定の当該事業について、①特に障がいのある方への配慮、②管理運営方式、③川根温泉との差別化、④施設供用までの利用方法、⑤化石燃料に頼らない（二酸化炭素を排出しない）新たな地域エネルギー供給システムの導入、以上の所見を伺う。

**答** ①付き添いの方も一緒に入浴できる家族ぶろの設置や必要時には温浴施設の玄関へ直接、車を乗り入れることができる。②地元伊太地区における取り組みも念頭におきながら、効果的な民間

**問** 川根町との合併を踏



伊太田代温泉の「日曜温泉スタンド」

**問** AED（体外式除細動器）は昨年度から今年度にかけて、小・中・高校や体育館など31カ所に配備された。しかし、心臓停止を起こした人の命を助けるには5分以内にAEDを施す必要があることを考えると、地域的にはまだまだ配備が不足と言わざるを得ない。例えば川口の山の家、伊久美のやまゆり、大代の公民館、菊川の里会館などへ今後も継続的な配備が



畑を荒らすイノシシ

### AEDの今後の配備は？

すぎむらようせい  
杉村要星 議員



**問** 今年もサツマ芋、稲粟などいろいろな作物が収穫前に猪に荒らされるという被害が各地で発生した。市は有害鳥獣駆除

**答** 猪は確かに増えており、行政としても農家の皆さんがやりがいをなくすようでは困るので、委託料は再検討したいと考えている。

# 島田市の財政は大丈夫か



くればやし みつぐ  
**紅林 貢** 議員

**問** 田代の郷の整備、体育館、プール、新市民病院の建設計画、資金計画をどう考えているか。

**答** 温浴施設は平成19年秋ごろに着工し、21年春に共用開始を予定している。事業費総額は隣接して建設する老人福祉センターも含め15億円程度を考えている。温浴施設の建設後は陸上トラックやクロスカントリー等の整備を検討していきたい。資金については合併特例債の充当を予定している。体育館プール、弓道場やトレーニングルーム、ラン



現在の中央体育館と市営プール

ニングコースなどの施設を一体的に配置した総合スポーツセンターとして整備したいと考えており、資金は都市公園事業費補助の採択を目指している。新市民病院については建設への検討が続きたい。

**問** 現市民病院の赤字解消策はあるのか。

**答** 優良といわれる公立病院とのベンチマーク手法による改善策、地方公営企業法の全部適用を検討していきたい。

**問** 田代の郷の整備、体育館、プール、新市民病院建設等大きな事業を実施したとき、市の財政はどうなるのか。

**答** 短期財政計画では19年度から起債残高を減少させようと計画を立てている。今の見込みでいくと平成25年がピークになると見ているが公債比率が15%、起債制限比率が13・3%、実質公債比率が3年平均で21・8%を見込んでいます。合併特例債の関係は計画の枠を外した形で考えている。

# 財政運営に危機感をもつ



つくだ けいこ  
**津田恵子** 議員

**問** 大型プロジェクトがめじろ押しだが、働くことができる年齢の人口が約6万人から2025年には5万人に減少する。市税も減少していくが、それを前提に財政計画を立てているのか。市長は行政の仕事市場原理にゆだね民営化や民間委託を推進してきた。NPM手法を使っているようだが、政策の企画・立案では独裁的ではなく、議会という合議組織との連携

が必要ではないか。

**答1** 長期計画は、島田市・金谷町新市建設計画の中に規定しているが、来年度から策定する島田市総合計画の中で主要施策の推進に符合する財政計画を策定していく。

**答2** 地方税の収入の見込み、地方交付税は、国の施策に非常に大きく左右されるが、決して甘い考え方ではない。地方債は17年度ベースの95%から98%に抑え込んでいくと起債残高は減少に転じる見込みでいる。

**答3** 議会と行政が議論するというのは、NPM手法以前の本来の車の両輪という本来的な役割分担で、緊張関係にあるべきである。NPM手法はその後のインプットという財政支出があった

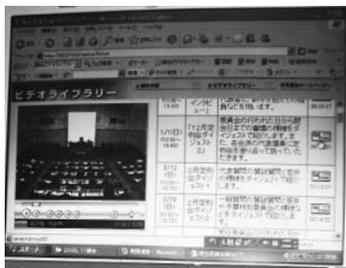
か、アウトプットというものができたか。アウトカムという効果があったかをPDCAサイクルでチェックするものである。

# 議場放映とネットでのビデオ配信を

**問** 開かれた議会調査特別委員会として議会の放映とインターネット上のビデオ配信を実施することを提案した。新年度に実施されるのか。

**答1** 議会放映については予算編成全体の中で検討していきたい。

**答2** ネット上でのビデオ配信は金額的がどうかまず先で、それから具体的なスケジュールを立てていく。



多くの議会が始まっているインターネット上でのビデオ配信

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

# 国際姉妹都市提携と今後のあり方



なかだ ゆうこ  
仲田裕子 議員

**問** 旧金谷町との姉妹都市、スイス・ブリエンツ町との姉妹都市提携が今年になった理由を問う。

**答** 市・町合併が落ち着き、ブリエンツとの日程調整を図り今年の8月となった。

**問** 災害義援金が遅れた理由を問う。

**答** 今年8月に訪問するまで壊滅的災害があったことを知らなかった。ブリエンツ議長より支援要請があり準備した。

**問** 旧金谷町のととき、ブリエンツ町との交流拠点は町長部局が担当していた。民間組織ができるまで、訪問団結成などは行政主導で行うのかを問う。

**答** 最初は行政が関与をし、指導していきながら

民間の交流組織ができることを願っている。

**問** 今後グローバルに国際交流を展開するためには、大きく国際交流協会として統合し、リッチモンド・湖洲市・ブリエンツを部会とし、協力しあって広く展開すべきと思うが市長の考えを問う。

**答** 各・交流団体において、今後の組織の在り方などが検討されていると



スイスの暮しと鉄道を紹介するブリエンツデー

## 生涯学習推進大綱の策定はいかに

聞いている。世界の国々の人たちと交流できる組織づくりに期待する。

**問** 「新市の生涯学習推進大綱を、平成18年度中に策定する」とあるが進捗状況を問う。

**答** 基本的推進計画を立て素案を作成している。

**問** 文部大臣へ、国の審議会が要請した答申の中にある、課題4項目は検討されたかを問う。

**答** ①リカレント教育、②ボランティア活動、③青少年の野外活動支援、④現代的課題の学習などの4項目は網羅されている。

## 「認定子ども園」を開設するのか



よしはる さの  
佐野義晴 議員

**問** 島田市の実情と照らし合わせ（10年後の未就学児は現在より2割減少が予測される）、「認定子ども園」は子どもにとって最良の施設になり得るのか、その取り組みについて伺う。

**答** 現時点において、保育園は満杯であるものの幼稚園は定員割れ状態が続いている。「認定子ども園」について今のところ見えるべきものが見えていない。公立・私立幼

稚園・保育園いずれも取り組み、導入は考えていない。

※認定子ども園とは、平成19年4月より本格的な導入が始まる幼保受け入れ一元化施設。

## 民営化の効果を市民に示せ！

**問** 民営化が予定される「みどり幼稚園・六合幼稚園」および計画中の第二保育園が民間に移管された場合、予想される削減効果と、その後の財源再配分計画、職員の再配置計画について伺う。

**答** 2つの幼稚園にかか

わる人件費および維持管理費で約8千万円、保育園で年間約5千万円の歳出削減が見込まれる。削減された財源は市全体の幼児教育の振興や子育て支援の拡充に充てる。なお、職員についてはこれまでの専門性を生かし、子育て支援事業等への配置を考える。

**問** 幼稚園の民営化に疑問を投げかけた人たちがいた。現状はどうであるのか、過程と結果、それを踏まえた今後の対応について伺う。

**答** 一定の理解は得られていると判断している。



島田市の明日を担う子どもたち

# 市民による 防犯まちづくりについて



ひらまつ よしのり  
**平松吉祝 議員**

**問** これまで防犯対策については警察を中心とした活動に頼ってきたが、犯罪の広域化、複雑化により、犯罪の未然防止を警察だけに頼ることは限界にきている。私たち一人ひとりが規範意識や防犯意識の向上に努めなければならぬ今、市民、事業者、学校、警察、市が一体となって防犯に取

**答** 市が設置した青色回転灯搭載車両を市の職員以外の者が使用することは困難である。

**問** 市営交番の開設は。

**答** 今後検討していきたい。

**問** 島田市防犯まちづくり条例制定は。

**答** 県条例と整合した市条例制定の必要性は考えているが、まず、全市的にわたる防犯まちづくり組織の構築に全力を挙げ、一定の基盤が整った後、条例化を図りたい。

**問** 防犯教育は。

**答** 防犯教室の開催、防犯避難訓練の実施、安全マップの作成など行っている。

**問** 学校の防犯に対する地域の協力体制と役割分担は。

**答** 平成17年12月に開催した、島田市子供を守る連絡協議会以降、地域の協力のもと子どもを見守っている。



防犯パトロール車

**問** すでに組織をたちあげた初倉地域と六合地域に防犯パトロール車の貸与は。

**問** 市営交番の開設は。

**答** 今後検討していきたい。

**問** 島田市防犯まちづくり条例制定は。

**答** 県条例と整合した市条例制定の必要性は考えているが、まず、全市的にわたる防犯まちづくり組織の構築に全力を挙げ、一定の基盤が整った後、条例化を図りたい。

**問** 防犯教育は。

**答** 防犯教室の開催、防犯避難訓練の実施、安全マップの作成など行っている。

**問** 学校の防犯に対する地域の協力体制と役割分担は。

**答** 平成17年12月に開催した、島田市子供を守る連絡協議会以降、地域の協力のもと子どもを見守っている。

## いじめ対策を急げ！



はしもと きよし  
**橋本 清 議員**

**問** 全国でいじめに起因するとみられる10代の自殺が連鎖的に起き、校長までも命を絶つという痛ましい事件もあった。今後、子どもたちが自ら命を絶つような悲劇をこれ以上繰り返さないために真剣にこの問題に取り組んでいかなければならない。そこで市内小中学校の実態と対策はどうか。

**答** 4月から9月までの調査では、小学校1件、中学校21件のいじめの報

告を受けている。ただ、いじめにつながる調査としては11月に小学校61件、中学校52件の申告があった。対策として教師の資質を高めることや、スクールカウンセラーや支援員の充実をしていきたい。

### 子育て支援の充実を望む

**問** 子育て支援で一番望んでいることは経済的負担の軽減である。そこで、次の3点について伺う。

①放課後児童クラブの利用料の無料化はどうか。

②放課後児童クラブの今



六合東小の放課後児童クラブ

後の事業展開はどうか。

③来年、実施される放課後子ども教室との関連はどのようになるのか。

**答** ①全額減免は難しいと考えている。平成19年度から島田、金谷地区が統一して6千円にした。

②今後は、六合小学校と五和小学校への開設を予定している。

③生涯学習課と児童課が連携して進め、運営委員会を立ち上げていく。放課後児童クラブと放課後子供教室の相互交流を図る場の設置を考えている。

# 不登校児童への 対応を充実せよ



とみざわやすひろ  
**富澤保宏 議員**

**問** いじめや人間関係、心の病など、様々な苦悩を抱える児童や保護者に対する対応や施策の充実が必要である。

①カウンセラー配備の体制や相談体制の更なる充実を図るべきだ。  
②教育センターの機能が充実と授業を受けたくても、教室に入れない児童

への学習機会を検討すべきだ。  
③通学に抵抗がある際の学校選択の自由を認めるか。

**答** ①10月時点で、小学校1人、中学校41人の不登校の児童がおり、中学校6校（週2回程度）と小学校4校（月2回程度）に6人のスクールカウンセラーが配置されている。相談件数も増えており、カウンセラーの配置の拡大と相談日数を増やし、在校時間を増やすことが課題であり、県事業の為、県に積極的に要望してゆく。また心の相談員が市の職員として13名配置されており、昨年比で不登校が22、23名の減となっており、大きな効果を挙げている。今後も支援員の充実が願われている。



ひとりもれなく幸せな人生の土台を

②教育センターは、学校へ復学するための支援の場であり、指導員は正規の教員資格を持っていないため、学習の要望があれば、学習支援を行う。学校では学習室で個別の対応をとり、教員が時間を割いて対応の努力をしているが、人員の配備がさらに必要である。  
③不登校児の学校選択は認められており、実際に転校している生徒もいる。  
（その他、川根町との合併構想、福祉有償運送について質問致しました。）

# 財政効率化のために 民営化を進めよう！



ふくだただお  
**福田正男 議員**

**問** 効率的な財政運営を図っていくためには、徹底的な歳出削減が必要と考える。その基本的な対策は何か伺いたい。また、地方自治体の水道事業や下水道・バス・ゴミの収集事業を民営化し、民間に任せればある程度の歳出削減に繋がると考えるがいかがか。

幼稚園、保育園の民営化など、島田市行政改革実施計画に基づいて進めていく。また、市では水道事業の民間委託を順次進め、将来的に完全民営化を目指している。

## 談合対策の マニュアルは？

**問** 最近、談合問題がニュースや新聞で取り上げられている。島田市でも談合情報の電話があったと聞いており、とても憂慮すべき事態だと思われる。そこで談合対策として、100万円以上の入札はすべて一般競争入札



水道事業の民営化へ向けて

に切り替える必要があると思うがいかがか。また電子入札の導入、第三者機関（外部機関）による入札制度の監視制度を設けたらどうか。  
**答** 一般競争入札については今後検討したいと考えている。電子入札については抑止効果もあると思われるので、金額の大きな入札を優先し、可能な限り早く導入する方向で進めていきたい。第三者機関についても、今後そういう話は出てくると思われる。即答はできないが、一つの提案として受け止めていきたいと思っている。

# 子どもの心に 寄り添った指導を



さくらい ようこ  
**桜井洋子 議員**

**問** 今問題になっている「いじめ」の実態と対策についてどうか。

**答** 9月の集計で小学校1件、中学校21件と把握している。児童生徒の悩みを拾い上げ、心配があれば校内いじめ対策検討委員会にはかり、ケースに応じた支援・指導をしている。

**問** 不登校の実態と対策はどうか。通級のチャレンジ教室を金谷地区にも設置して指導にあたるべきではないか。

**答** 10月の時点で、小学校1人、中学校41人となっている。不登校担当教員を中心に、チームで支援・指導し、学校外部の専門機関とも連携し



現在策定中の島田市国民保護計画 (案)

た対策をとっている。北中学校敷地内にあるチャレンジ教室には17人が通級している。交通手段の面からの課題はあるが、金谷地区の設置は考えていない。

## 島田市国民保護計画とはなに？

**問** 現在、策定中の島田市国民保護計画は、外国からの武力攻撃やテロなどが発生した場合、市民の生命や財産を保護し、避難や救援などの保護措置を実施するとしている。市民はこの計画すら知らない。説明、意見募集はどのように行うのか。また、訓練の実施はどうか。

**答** 市民への説明は、広報紙、ホームページ、自治会の会合、研修会等を通じて実施していく。また、計画に関する意見募集はホームページ、情報公開コーナー及び市民安全課で開示をして、提出をもとめる。策定後は、防災訓練と同様に必要な訓練を実施していく。



まつもと さとし  
**松本 敏 議員**

## 市立幼稚園の 民営化に反対する

**問** 六合およびみどり幼稚園を、平成19年4月より民営化する計画だ。しかし目的、受ける側の体制などが疑問だ。誰のため、何のための民営化なのか不明だ。学校法人六合学園は、未だ学校法人の認可を受けていない。見切り発車ではないか。また定員80人で経営できるのか。

**答** 法人の認可は、平成18年3月に県より学校法人設立計画と幼稚園設置

計画について承認は受けた。従って平成19年3月には学校法人設立と幼稚園設置の許可が得られる。80人定員は厳しいかもしれない。だが関係者は努力すると思う。市は建物を無償で提供し土地も貸与する。また園長も派遣する。

## 障害者自立支援法の 影響は深刻

**問** 4月にスタートした障害者自立支援法が、10月から本格実施された。しかし「利用者への応益

負担」、「施設への報酬の日割り計算方式」など、国が社会保障費の削減のために導入したもので、障害者福祉の基本を揺るがす事態だ。利用料の応益負担は、サービスを利用する際、負担が重くきびしい。サービス利用料を助成するなど、軽減策を創設すべき。

**答** 利用者負担については、10月からの完全実施に合わせ、国が一部軽減策を取り入れた。今後とも国で負担軽減策が協議されると聞いている。従って軽減策は考えていない。



みんなと紙ヒコーキ飛ばし (六合幼稚園)

# 公共交通のあり方を 見直そう



かわらざき たかし  
河原崎聖 議員

**問** これまでコミュニティバスは、廃止される路線バスの代替として整備されてきたが、路線や時間帯によっては利用率の上がらないものもあり、現在運賃以外に8000万円ほどの補助金を投入しなければ維持できない

状況で、財政難の折、その削減は急務である。また、利用客がわずかしかない赤字路線をそのまま引き継ぐのではなく、高齢者や障害者の移動や朝晩の学生の通学などに焦点を当てて、全市的な視点でコミュニティバス



コミュニティバスの運行

など公共交通のあり方を根本的に見直す時期にきているのではないかと考える。そのためには、まず、利用者数やどのような運行形態を望むか等について意向調査を行い、路線・便数などを再編成し、場合によっては、乗合タクシーの予約運行などを活用することも考えるべきではないか。また、民間事業者のさらなる協力や市民の自らの移動手段は自分たちで守り育てていくものという姿勢を求めるとともに、改正道路交通法で想定されている地域公共交通会議を設置して、この地域の公共交通のあり方を考えていくべきと思うが、どうか。

**答** コミュニティバスの配置については、福祉的な視点もあり、採算性だけで判断できないし、民間事業者との関係もあって難しい点もあるが、支出をできるだけ抑え、収入を上げる方法を含め、多くの方の意見を伺いながら、今後の持続を考えたい。

# 放任竹林・荒廃里山の 対策は



そね よしお  
曾根嘉明 議員

**問** 市内の山を見渡してみると、あらゆるところに竹が覆い茂っている。放任竹林、手入れされずに荒廃した山林にいろいろな弊害が予想される。どのような被害が考えられるか。今後どのような対策を実施するか。

**答** 手入れをしない竹林は密植状態となり、次第に周辺の杉、ヒノキなどの人工林を浸食したり、山地崩落などの災害を引き起こす原因となる。茶

畑等へ侵入した場合は、これらにも影響を及ぼすことが考えられる。対策として所有者に対して森林整備への理解を深めていただくよう働きかけるとともに、県や関係団体と連携し、保全対策についてさらに研究していく。

近隣の市町においては猪のほかにもカモシカ、ハクビシン、鳥、猿による農作物被害があると聞いている。電気柵の設置やわなの購入のための補助を実施し、貸出用おりについても計画の整備を図っていく考えている。熊の出没情報があった場合、国が定めるマニユアルにしたがつて速やかに警察や県、猟友会と連携して対応している。人的被害を回避するため、地域住民への広報や教育委員会への連絡等も速やかに実施している。



拡大している竹林（白岩寺周辺）

# 教育環境の整備を急げ!



なかのこうじ  
**中野浩二** 議員

**問** 今、教育現場で必要なことは先生と生徒のふれあいの時間を確保することである。現状を見ると子どもたちのふれあいの時間を大切にすることがあまり学校内の事務処理の時間がとれず家庭への持ち帰りを余儀なくされているという現実もある。

**答** 来年度以降北部地区

5校を3年連続で情報教育を生かした小中連携の研究指定をし、その成果を市内全域に拡大していきたい。今後、先進地の視察も含めて、調査、研究していく。

## 小中連携の教育を推進すべき

**問** 中学校進学に伴う生活面や学習面での不安、課題を取り除くなど小学校と中学校との連携を円滑にして子どもたちが安心して学べる環境を整備するためには、多数の自治体で行われている小中学校総合連携推進事業の充実を計るべきと思うがどうか。

**答** 来年度から北部地区において3カ年にわたり小中連携教育についての研究を指定し推進していく。推進に当たっては市教委も積極的にかかわっていききたい。また、子ども同士の文化交流には基金など必要な予算措置も考え、多様な活動ができるよう支援していく。



教育機器を利用した授業風景

# 議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、6名の議員が50の項目について質問しました。以下、主なものを掲載します。

### ★リサイクル事業（障害者就労支援事業）について

**問** 雇用者の見込み人数と就労できる要件はどうか。

**答** 阿知ヶ谷の旧清掃センターで行う、ペットボトル、トレー、紙製パツクの中間処理業務を障害者が就労する事業所に委託し、雇用人数は当初は10人くらいと考えている。市内に住所を有し、就労が可能な65歳未満の障害者が対象である。

**問** 賃金はどのくらいを見込めるのか。

**答** 22日間、1日5時間働いたとして、最低賃金を保障される場合は7万円程度になる。障害の程度によって最低賃金を適用しない場合は4万円程度になる。

### ★ブリエンツ町義援金について

**問** 500万円とした根拠は何か。

**答** 500万円の予算だが、市民からの義援金を合わせて500万円と考えている。

**問** 歳入の方へ記載はないが、財務会計処理はどうするのか。

**答** 市民の募金を財源とするものではない。500万円の足りない部分を予算計上して支出していく考え方に基づいて計画したものである。

### ★グラウンドの一部芝生化の経費について

**問** 島田第四小学校とした理由と維持管理のやり方は。

**答** 学校の体育やスポー

ツ少年団等の活動に支障のないだけのグラウンド面積があり、井戸の設備、散水設備を保有している学校という条件により、選定した。当面は、維持管理を市の施設の芝生管理業者に委託し、最終的には学校、PTA、グラウンド利用団体等に協力願う。

### ★電子申請共同利用システム運営委託について

**問** このシステムの運営の中で、公的個人認証サービスを導入して運用する計画はあるのか。

**答** 当面はない。運用すると言うことになれば、その段階で広く指し示していく。

★市立のみどり幼稚園・六合幼稚園の民営化について

問 両園の民営化を進めるに当たって、平成18年度までに予算執行した事業の額と内訳は。

答 みどり幼稚園の園舎改修工事、六合幼稚園の園舎改修工事と調理室建築等に5500万円。民営化に伴う国庫補助返還

金が2258万4000円である。

問 民営化後の平成19年度以降予定している支援事業の額と内訳は。

答 2園の在園児に対する保育料差額補助が約1500万円、移管後の経営が安定するまでの補助が3年間で1800万円、私立幼稚園に通う園児の保育料補助が毎年約

6千万円、六合学園の園長派遣費を予定している。

問 民営化による削減効果は。

答 2園の運営費8千万円がなくなる。ただ、平成19年度以降の支援事業などの初期投資を見込むと、7年を経過してからプラスに転じると予想している。

★指定管理者の指定について（お茶の郷）

問 経営を2社が協同連帯する事業内容は。

答 ハラタ製茶株式会社が博物館、茶室を担当し、レストランおよび売店は、今までのノウハウを生かして株式会社静鉄レストランが担当する。

問 今までの直営との比較で、経費の削減効果は。

答 単年度で、約2100万円程度の経費削減が可能である。

問 今までの臨時職員などは継続して雇用されるのか。

答 お茶の郷の臨時嘱託職員のうち、引き続き雇用を希望する者について

は、優先的に雇用するよう要請していく。

★島田市・川根町合併協議会の設置について

問 専門委員の人数と内訳は。

答 2市町の商工団体、自治会関係、青年会議所、青年団、認定農業者等各種団体から5人ずつ10人と県から2人を予定している。

問 開催数と会議の内容は。

答 平成18年度に2回、平成19年度に4回、計6回の予定。合併市町村基本計画の作成と合併に関する協議をしていく。

★静岡県後期高齢者医療広域連合の設置について

問 予算・決算など広域連合に関わる各種の情報

はどのようにもたらされるのか。議員が20名定員では、関与できない自治体が出てくるが、チェックと責任体制はどうか。

答 議員の定数は市長6人、町長4人、市議会議



島田市・川根町合併協議会

員6人、町会議員4人の計20人と定められており、すべての市町から選出されるわけではないが、市町、議員の代表と

問 75歳以上の高齢者から年金天引きされる保険料は平均いくらか。保険料の軽減策はどうか。

答 現時点の試算で静岡県県の保険料は、一人1ヵ月あたり6138円となっている。低所得対策として、世帯の所得水準に応じて保険料の7割、5割、2割を軽減することとなる。

提供される。情報公開、直接請求制度もある。

問 議員の定数は市長6人、町長4人、市議会議



六合幼稚園

# 民生病院常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決・認定すべきものと決定しました。  
主な審議内容は、次のとおりです。

## ☆H18一般会計補正予算

### ○さわやか子育て支援金支給事業

問 「今年の実績はどう

か。また、この事業の効果は。」

答 「12月7日現在で、第3子が81人、第4子が6人、第5子が2人の計



地域交流センター内（子育て交流サロン）

89人に支給している。平成18年度には122人の支給を見込んでおり、効果としては、第3子以降の出産がこの事業によって増えていると受けとめている。」

### ○リサイクル事業・障害者就労支援事業

問 「補正予算の内容を伺いたい。」

答 「旧清掃センター（阿知ヶ谷）の西側にあるテントハウス前に140㎡程度の作業棟と60㎡程度の作業所兼休憩所を建設する予定である。また、ペットボトルの圧縮機等を購入する予定である。」

問 「障害者就労支援に關しては、身体、知的、精神の3障害の内、どの人たちを対象に予定しているのか。」

答 「3障害のすべての人たちを対象に予定している。」

問 「資源ごみの中間処理については、現在、幾らぐらいかかっているのか。また、来年度から障害者の人たちにお願ひすることになると、金額はどのくらい変わることになるのか。」

答 「現在、資源ごみの中間処理については、1700万円程度かかっている。来年度から、空きびんを除くペットボトル、トレイ、紙パックの中間処理をお願いする予定であるが、予算的には、作業員10人分の賃金、施設の維持管理費等で1760万円程度を考えている。」

問 「今回の補正予算の中に設計費は含まれているのか。」

答 「設計費分は含まれていない。流用する中で対応した。」

意見 設計を流用で対応したことについては論議がなされ、事前に報告すべきであった旨を当局側に伝えた。



障害者就労支援事業の作業棟建設予定地（テントハウス前）

### ☆陶磁器くず及び廃ガラス類の中間処理

「夏から処理がとまっていた陶磁器くず及び廃ガラス類については、資源として再処理できる会社が見つかり、11月21日から搬出を開始した。」

との報告があった。

この他、平成20年4月から75歳以上を対象に始まる後期高齢者医療制度に關連した静岡県後期高齢者医療広域連合の設置議案についても審議を行いました。

# 経済建設常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決・認定すべきものと決定しました。主な審議内容は、次のとおりです。

## ☆H18 一般会計補正予算

### ○債務負担行為補正

#### お茶の郷管理運営委託費

**問** 平成19年度から3カ年の債務負担行為が1億8400万円であるが、お茶の郷を建設したときの起債額と毎年の起債償還額はいくらか。

**答** 建設したときの起債額は18億8170円、18年度の償還額は、1億4479万5000円である。

**問** 今まで毎年8〜9千万円の運営費を出しているが、今回指定管理者に委託することにより節減できる経費を起債の償還にあてるのか。

**答** そのような方法は考え方として成り立つとは思いますが、基本的には一般財源から措置していく。あくまでも指定管理者

制度は経済面、運営上の問題などを総合的に判断して導入するものである。

### ○歳入 農林業費県補助金

#### 中山間地域等直接支払交付金

**問** 交付金は何年間交付されるのか。



中山間地域直接支払制度対象の茶畑（志戸呂地区）

**答** 今回実施しているのは第二期分で平成17年度から平成21年度までの5カ年間である。

**問** 第一期と同じ場所を第二期でも指定する理由はなにか。

**答** 主に耕作放棄地の防止を目的とする制度であり、第一期に管理作業を行った場所を継続的に管理する必要がある。

【中山間地域等直接支払事業とは】

農地の面積が小さく傾斜がきついなど、平地と比べて耕作条件が不利な中山間地域の耕作放棄を防ぐための制度です。5年間以上継続して耕作や農地の管理などを行う個人や集落等に対して、面積に応じた交付金が支払われます。

## ☆指定管理者の指定

### ○お茶の郷の指定管理者の指定

**問** 施設の改修工事を行う場合、市と指定管理者が協議するとの事だがどういうことか。

**答** 指定管理者から提案



指定管理者が決定したお茶の郷

されて改修等を行う場合は、あくまでも市とその都度協議をするということになる。

**問** 大井川を一望できるような景色の良いレストランにするために、一段高い建物にしたいという要望はあったか。

**答** これまでに要望はない。眺望のいい所を夜間

使用するなどの工夫をしてもらっている。

**問** 博物館と商業施設との人の流れが良くないと思う。JVの2団体で経営に関する連携の話し合いをしていく姿勢はあるのか。

**答** 引継ぎの体制が出来たところでそのような指導をしていきたい。

# 総務教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決・認定すべきものと決定しました。  
主な審議内容は、次のとおりです。

## ☆H18 一般会計補正予算

### ○ブリエンツ支援金の支出は適正か

**問** ブリエンツへの支援金500万円が計上されているが、これは市民から寄せられた義援金と合わせての金額であることが議案質疑の中で初めて示された。こうした支出の仕方は異例のことで、始めからしつかりと説明するべきであるし、すでに260万円ほどの義援金が集まっていることを考慮して、その分を差し引いた金額にするなど、書類上の金額と実際の金額が矛盾しないようにする方が会計処理上望ましいのではないか。

**答** 議会に対する説明が不足していたことは確かです、申し訳ないと思っています。今後こうしたこと

のないようにしたい。今回の支出については、市民からの義援金を予算の歳入に入れるのは、財務

会計上適切ではないため断念し、実際の支出に近い形で計上するには、まだ募金をしている段階で、いくらが近い金額かわからないことから、一応上限の金額で計上し、状況を見ながら執行するのが次善の策であろうと判断したものである。

## ☆市立学校設置・市立幼稚園条例

### ○六合幼稚園の民営化は？

**問** 市立幼稚園の中から来春民営化が予定されている2園を外すことについて、六合幼稚園の受託先となる六合学園はまだ実績がなく、法人の資格

も取れていない段階である上に、今年春に県から

承認を受けた後に中心的な役割を果たしていた園長予定者が交代し、市職員を派遣する方針に変更されるといった問題が出てきたことを考えると、県の認可が100%確実と現時点で断言できない。こうした決定はもう少し先に延ばしたほうが

いいのではないか。

**答** 12月の段階で県の事前審査も済み、認可に向けて大きな支障はないという審査を受けているため今議会に上程したもので、今の時点で通しておかないと、来年度の予算・人事の編成に支障をきたすことになり、県の

決定にも悪影響を及ぼすことが懸念されるので、理解いただきたい。



スイス・ブリエンツ町の災害光景



# ザッ 討論

賛成  
結果は15ページ  
反対

## ○平成18年度一般会計補正予算

### 反対討論

・姉妹都市スイス、ブリエンツ町への災害義援金500万円は多額すぎる。市民からの募金の集まり具合で支出金額を決める方法も、予算としてはおかしい。島田市・川根町の合併は県の強力な推進策によるもの。市民への説明会の計画もない合併協議会の負担金は反対だ。静岡県後期高齢者医療制度は、高齢者いじめの医療制度になる。

・債務負担行為のうち、住基カードを使った公的個人認証業務の推進を早める電子申請と、市民への説明不足である仮称島田市総合スポーツセンター整備事業に反対する。障害者就労支援のリサイクル事業において、すでに設計委託を行っていたが、議決前執行であり許

### 賛成討論

されない。

今回のブリエンツ町への義援金は、姉妹都市を襲った天災、その災害復興に取り組む一助となるとともに、合併前の金谷町時代から築いてきた友好親善の更なる促進に繋がるものである。したがって、5000万円から募金予定額3000万円を差し引いた額、2000万円にしようとする修正案に賛成するものである。

また、補正原案については、総務費では川根町との法廷協議会の運営にかかわる経費、農業費では茶業の振興を図るための茶業振興団体への補助金の増額と、今回の補正は市民生活の維持向上および住民福祉の増進と密接にかかわっており、賛成するものである。

## ○市立学校設置条例の一部改正 市立幼稚園に関する条例の一部改正

### 反対討論

この条例改正は、公立幼稚園を民営化し、市場経済に任せるものである。2万3000筆の署名に託された、公立幼稚園の存続を求める陳情も議会の委員会採択も無視したやり方は許せない。また、移管先決定後も予定理事長、園長の突然の交代や移管先の変更もあり、保護者や地域を不安にさせた。

コスト削減の名の下に強引に進めたが、園舎等の改修、当面2園が安定化するための保育料や運営費補助、さらに六合幼稚園園長の派遣などに市民の税金を使う。そして、事業者は、資産として園舎も無償で獲得し、利益を得るのであればとうてい容認できるものではない。

### 賛成討論

平成19年4月からの公立幼稚園の民営化については、市の重要施策の一つである。教育委員会は施策を推進するため、3年余り前から保護者および地元への説明会を開催し、大方の理解を得ている。

六合幼稚園は平成18年3月に承認を受け、平成19年3月の認可を待つのみとなつている。また、みどり幼稚園においても現在、事業計画どおり実施されており、平成19年3月に認可を待つのみであり、多くの保護者の期待にこたえるためにも公立幼稚園二園の民間への移管をスムーズに進める必要があると考える。

## ○島田市・川根町合併協議会の設置

### 反対討論

・川根町の特徴は茶業と林業であり、それらに対する施策が合併によって希薄になることは目に見えている。特性の似通っている川根本町と合併し、河川の上流部を守って暮らしている自治体として国税が投入されるべく協力していくべきだ。

・この合併計画は、静岡県の強力な推進が特徴であり、市民の意見の反映は無いに等しいものだ。島田市の財政状況、すなわち将来の市民サービスに厳しい影響を与える合併になる。だからこそ市民の理解と合意は不可欠だ。したがって、合併による市民サービスへの影響、財政の将来予測などの情報を市民に知らせる説明会を求める。

### 賛成討論

市町村合併は、住民の生活圏と行政区画を一致させることで、広域的視点に立ったまちづくりや行政サービスの向上など効率的な行財政運営を行うためにも必要であり、島田市・川根町は大井川流域に位置する自治体として、歴史的な結びつきをはじめ住民の日常生活および経済活動においても一体的な生活圏を形成しており、静岡縣市町村合併推進構想においても一つとして示している。

川根町においても、12月5日開催の定例議会において当該議案が可決されている。当市においても合併協議会を設置し、合併に関する事項について協議を進めていくことが必要であると考える。



静岡県後期高齢者医療広域連合の設置

反対討論

・広域連合の議会の構成と運営に不安が残る。構成市町は42団体なのに議員が20人と半分以下では、代表を出せない自治体が出てくる。それでは、住民の声が届きにくい。各自自治体から1名の議員選出にすべきである。連合議会の公開や審議の透明性も確保されていない。
・医療保険料の徴収は市が行うが、年金からの天引きだ。介護保険料と合わせると負担が重く生活を圧迫する。問題は、医療費が増えれば、保険料の引き上げにつながる制度だ。また、保険料を払えなくて滞納が続けば、資格証明書が発行され、医療から締め出されることにつながり、容認できない。

賛成討論

本議案は、老人保健法の一部改正により平成20年4月から75歳以上を対象にした後期高齢者医療制度が施行されることに伴い、その運営主体となる静岡県後期高齢者医療

広域連合を設置しようとするものであり、後期高齢者を対象にした独立した医療保険制度を創設し、高齢者ひとりひとりから保険料を徴収し医療の給付を行うものである。次に、広域連合における自治体の参画については議員の定員は20名と定

められ、議決すべき事項のうち条例に関するものや予算・決算等重要なものについては、構成市町の長に通知があるとされている。老人医療費の財政運営の安定化および医療費適正化に努めるため、広域連合の設置は必要である。

採決結果一覧

(賛成反対が分かれたもの)

Table with columns for items (e.g., 後期高齢者医療広域連合の設置, 島田・川根町合併協議会の設置) and rows for council members (e.g., 平松吉祝, 曾根嘉明). Includes a legend for赞成 (O) and 反対 (X) and a list of party affiliations (e.g., 会派名: 新生=新生しまだ).

※議長は採決には加わりません。

(順不同。敬称略)



# 平成18年度補正予算案を可決

## 平成18年度補正予算 一般会計(補正後) 30,389,483千円

平成18年11月28日から12月19日まで、平成18年第4回島田市議会定例会が開催されました。主な内容は次のとおりです。

### 補正予算

一般会計の主な内容は、スイス連邦ベルン州ブリエンツ町の災害復興支援のための義援金、川根町との法定合併協議会運営費負担金、リサイクル事業（障害者就労支援事業）費などの増額などでありました。

また、国民健康保険事業特別会計については、高額療養費負担金の減額および人間ドック検査委託費の増額、公共下水道事業特別会計については、水道およびガスパ管の移転補償に要する経費などです。

### 条例

条例は7件を可決しました。主には、島田市特別職報酬の額に政務調査費の額を加えるもの、島田市立学校設置条例および島田市立幼稚園に関する条例から、島田市立みどり幼稚園の項、島田市立六合幼稚園の項を削るもの、島田市病院事業の毎月を1日から15日までおよび16日から末日まで

の2期に区分しているものを1月に改めるもの、また消防組織法の一部改正施行に伴う関係条例の整理に関するもの、消防団員等の公務災害補償を改正するもの、金谷地区コミュニティバス条例の一部改正などでありました。

### 専決処分の報告

議会を開催する時間がなかったことにより、市長が専決した島田市手数料条例の一部改正など4件についての報告がありました。

### その他

大草住宅第2期建設工事請負契約について、「お茶の郷」および「島田市野外活動センター」の指定管理者の指定について、また字の区域の変更、市道路線の認定および廃止、島田市・川根町合併協議会の設置、静岡県後期高齢者医療広域連合の設置、大井川広域水道企業団の規約の変更、特別委員会の設置、飲酒運転根絶に関する決議などが可決されました。

## 議決結果一覧表

### ○全員賛成で可決

H18年度島田市補正予算のうち  
国民健康保険事業特別会計補正予算

公共下水道事業特別会計補正予算  
水道事業会計補正予算  
病院事業会計補正予算

特別職報酬等審議会条例の一部改正  
病院事業の設置等に関する条例の一部改正

消防組織法の一部改正に伴う関係条例整理に関する条例

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

金谷地区コミュニティバス条例の一部改正

工事請負契約  
指定管理者の指定（お茶の郷）

指定管理者の指定（野外活動センター）  
字の区域の変更

市道路線の認定  
市道路線の廃止

静岡県大井川広域水道企業団の規約の変更

特別委員会の設置（議会だより編集等に関する特別委員会）

飲酒運転根絶に関する決議

### ○賛成多数で可決

H18年度島田市一般会計補正予算（修正）

市立学校設置条例の一部改正

市立幼稚園に関する条例の一部改正

島田市・川根町合併協議会の設置

静岡県後期高齢者医療広域連合の設置

置

※表決についての詳細は15ページの別表に掲載しています。

### ○その他の結果

専決処分報告（物損事故の和解）  
報告

専決処分報告（交通事故の和解）  
報告

専決処分報告（交通事故の物損分の和解）  
報告

専決処分報告（手数料条例の一部改正）  
報告

## 決議しました

### 飲酒運転根絶に関する決議（要約）

交通事故のない安全で安心な社会の実現は、島田市民の共通の願いである。

飲酒運転の危険性については、その根絶に向けて、平成13年には危険運転致死傷罪の新設、平成14年には改正道路交通法による酒酔い、酒気帯び運転の厳罰化が図られたところである。

しかしながら、飲酒運転による死亡事故や人身事故等の発生は、依然として後を絶たない状況にあり、幸せな家庭が一瞬にして崩壊していく悲惨な現実がある。

飲酒運転根絶には、運転者・同乗者が飲酒運転の危険性、違法性、責任の重大性を認識することはもとより、飲ませる側にも責任があり、「飲む人も飲ませる人も許さない」という社会的風潮を改めて徹底させ、その家族や職場、さらには地域が一体となって、飲酒運転を絶対に許さないという強い意志を示さなければならぬ。

よって本市議会は、ここに改めて強い認識のもと、人命尊重の立場に立ち、安全で安心できる正しい交通秩序の社会の確立を目指し、交通事故の抑制はもとより飲酒運転根絶に向けて、決意を新たに交通徳の向上と社会ルールを守る強い意志をここに表明し、決議しました。

## 議員定数の見直しに関する特別委員会

### （陳情審査の経過と結果）

9月定例会で設置された議員定数の見直しに関する特別委員会の協議した概要についてお知らせします。

平成18年9月28日（第1回）

正副委員長選出

平成18年11月13日（第2回）

議題…今後の委員会の進め方について

先に島田商工会議所、初倉商工会、金谷商工会、島田青年会議所（要望書）、島田市自治会長連合会より議長に提出された議員定数削減に関する陳情書の内容の検討とその対応について協議する。

協議事項…①陳情書、要望書を提出された各種団体との意見交換、②議員定数の削減はやむを得ないかもしれないがさまざまな観点から調査・研究の上、慎重に審議すべきである。③川根町との合併を控え、川根町の議員や住民の意見も聞き、議論すべきである。④原則として月1回委員会を開き協議する。

平成18年12月12日（第3回）

陳情、要望書提出団体との意見交換

出席団体…島田商工会議所、初倉商工会、金谷商工会、島田青年会議所、島田市自治会長連合会

島田商工会議所会頭発言要旨…①島田市・金谷町合併協議会の中で合併直後の選挙は27人とするも、次の選挙は定数削減の方向で見直して欲しいという含みがあった。②藤枝が24人、焼津が21人を目指していることから、近隣市と歩調を揃えてもらいたい。③川根町との合併前に定数削減を決めてほしい。

なお、他の経済団体もおおむね同意見であった。

島田自治会長連合会会長発言要旨…①議員定数の削減については、各自自治会、役員会で話し合って承認されている。②議員が地域の民意を行政に反映していくこともあるが、それは町内会に任せ、議員は市全体を考える活動をしてほしい。

以上で意見を聞く会を終了。陳情書の採決の可否を諮り、賛成多数で「採択」することに決定。

なお委員より、議会全体の経費削減には積極的に取り組むべきであるが、①民意の反映、行政のチェック機能の低下を招く恐れはないか、②近隣市との比較で人口だけとらえて、面積の点でも調査、研究すべきではないか、③川根町との合併協議を進めるに当たって川根町議員・住民との意見交換を行った上で、定数を検討すべきである、との意見があった。

12月19日に正副議長の交代がありました。

# 議長に 田島建夫氏 就任 副議長に 富澤保宏氏 就任



議長  
お 田島建夫  
た じま てる お 夫

「たてお夫」  
ルが低い」など議会や議員の責任を指摘しています。当議会においても「政務調査費問題」、「議長不信任騒動」など市民の皆さまから厳しい批判をいただいております、ここで自浄努力に取り組みまないと議会不要論、二元代表制の危機につながります。

前職者の辞任という思わぬ事態により、市民の代表である議員多数のご支持を得て、議長の大役を仰せつかることになりました。就任にあたり、議会が直面する課題の一端と克服に向けての所信を述べさせていただきます。  
世論調査によりますと、地方議会の現状に60%強の人が不満と答えています。その理由は「行政をチェックする機能を果たしていない」、「議員のモラ

これら経緯をふまえ、議会並びに議員がより研鑽に励み、政策立案など本来の機能をしっかりと受けとめ、市民の皆さまから見て「活力と信頼のおける議会」を目指してまいります所存であり、市民の皆さまのご期待に背かぬよう誠心誠意努力してまいりますので、旧に倍してのご指導ご鞭撻を賜りますようお願いし就任の挨拶とさせていただきます。



副議長  
とみ ざわ や す ひ ろ 宏  
富澤保宏

地方分権の流れが着実に進む中で、責任ある地域運営が益々重要になってまいります。議員は、島田市民の負託

を受けた、市民への奉仕者との原点に立ち、どこまでも市民の皆さまの安全・安心と心豊かな生活の向上を目指し働いてまいります決意です。そのためには、議会の機能が充分発揮できるよう、議員の資質向上への挑戦が重要です。議長とともにさらなる議会の機能強化と円滑な運営を目指し、誠実に努力してまいります決意です。どうぞ皆さまのご指導をよろしくお願い致します。

## 2月定例会の日程

第1回（2月）市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議の傍聴におこしください。いずれも午前10時開会です。

2月22日（木）	本会議（一部議案上程）	3月13日（火）	本会議（個人質問）
2月23日（金）	常任委員会	3月14日（水）	本会議（議案質疑）
3月2日（金）	本会議（議案上程）	3月15日（木）	常任委員会
3月9日（金）	本会議（代表質問）	3月16日（金）	常任委員会（予備日）
3月12日（月）	本会議（個人質問）	3月23日（金）	本会議（最終日）

なお、この予定は変更されることがあります。

## 編集後記

議会だよりの編集は本号から新たに発足した「議会だより編集等に関する特別委員会」のメンバー6人で担当します。一般質問、議案質疑等議会活動を中心にわかりやすくお伝えできる「議会だより」の発行に努めます。一つの声が議会の活性化させます。ぜひご意見ご感想をお寄せください。



### 議会だより編集等に関する特別委員会

委員長  
副委員長

- 木野慎吾
- 桜井洋子
- 平松吉祝
- 曾根嘉明
- 河原崎聖
- 飯塚栄一

島田市議会事務局  
〒36-7204  
Eメール: gikai@city.shimada.shizuoka.jp